

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2単位 キャリアデザイン	コミュニケーション論	永井 純子	1年次	秋

授業のキーワード	自分の声とは？意味通りの言葉で話し、伝えることでコミュニケーションの深さを知る。
授業の概要	話して伝えること、読んで伝えることは、自分の意見を自分の言葉で発信することである。また、相手の云わんとすることや聴いてほしいことを思いやることもコミュニケーションの大切な要素多なるということを、時事をテーマに実践的に学んでいく。
期待される学習成果（目標）	コミュニケーションという言葉が意味する表面的な会話や、上手に話すだけのスキルだけではおぼろしい、コミュニケーションを通して人と人のつながりの深さや思いやることの大切さ、また社会に想いを馳せることの愛おしさを「言葉」を通して学んでいく。このことは、社会に出てから即戦的だけでなく、じわじわと効果が出、言葉のもつ多面性をより深く知ることが期待できる。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	オリエンテーション	コミュニケーションとは何か？全体の講義計画の説明、自己紹介と他己紹介の準備をする。	第9講	実践①～チラシから会話を起こす～	溢れる情報。正しく情報発信されている中身を読み取るために、チラシに書かれた情報から文書起こしをして、提示されていることは何かさぐる。
第2講	イントロダクション	自分が伝えたい事、他人が伝えたいと思っている事をどのようにつたえたとよいのか必要とされるコミュニケーションについて考える。	第10講	実践②～インタビュー～	紹介したいと思う人物とテーマとを選び、「聴かれ所」を刺激する質問、インタビューとは何か考える。そしてその事を第三者に発信してみる。
第3講	コミュニケーションの基本～声～①	コミュニケーションの手段としての一つ、「声」。自分の声を知る、ということ学ぶ。口の開け方や日本語の特徴を知る。	第11講	実践③～朗読（1）～	書かれている言葉の意味通りに発音する事が出来るだろうか？本物の朗読とは何だろうか。一人づつ実際に朗読しながら本の世界観に迫ってみよう。
第4講	コミュニケーションの基本～声～②	「声」をおしゃれにすることによる、伝わり方の違いを知る。「声を届ける事」「相手の声を聞く」事を実践を交えながら学ぶ。	第12講	実践④～朗読（2）	第11講を踏まえて、さらに朗読について深めていく。
第5講	コミュニケーションの基本～声～③	「話して伝えることの基本」について、センテンスや全体像の捉え方、メモをみて話す、という視点で学ぶ。	第13講	発表①	社会事象にスポットを当て、テーマを設定しレジュメを作成。伝わる言葉でしっかり発表する。パワーポイント作成、使用可。
第6講	コミュニケーションの基本～声～④	「読んで伝えることの基本」について、音の高低や、意味を際立たせることをテーマに学ぶ。	第14講	発表②	前の週に各自が発表したテーマについて、意見交換し、共感共鳴できる伝わるテーマや話し方は何だったか振り返る。
第7講	コミュニケーションの基本～敬語～	最近のおかしな敬語を使ったと思われる会話を例に、敬語について考え学ぶ。	第15講	レポート作成、提出	講義の集大成。自分の声とは何か、言葉で伝えるとはどういう事か、レポートの提出。
第8講	パブリック・スピーキング	面接や名刺交換、公の場でのスピーチなど、社会人として基本のマナーとその際必要なコミュニケーションについての講義	定期試験		あり 講義内容を踏まえて筆記試験
評価方法		講義への出席60%、定期試験40%（レポート提出）			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
講師作成資料を使用			講義中に指示		